



愛知大学同窓会
岡崎支部
2018.5.26 (第78号)
発行所 〒444-0204 岡崎市土井町荒井乙40
大島俊明
責任者 TEL (0564) 54-2290
FAX (0564) 53-1466
E-mail oshima@tkcnf.or.jp

ご挨拶

支部長 大島俊明



今年平成三十年は岡崎支部の設立六十周年に当たります。諸先輩方が築き残された岡崎

支部の風土は何であるのかを六十周年を期に確認をしようと、特別委員会を設けて、作業を続けて参りました。各種資料から見たところを、一端ですがお伝えします。

昭和三十三年に岡崎支部が設立されました。しかし、この時より更に遡って昭和二十四年には、現役学生の集まりである「愛大岡崎会」が発足しています。

昭和二十四年五月に岡崎公園内の八千代にて、岡崎会の発足会と新入生歓迎会が開催されています。

昭和二十七年六月に岡崎会が

タカハシ百貨店(現在の岡崎信金・本町支店)で「原爆展」を開催し、六月七日から十一日までの五日間で一万人を超える入場者を集めました。(この年の五月に愛大事件が発生し、開催場所確保に苦労したようです。)

昭和三十三年に岡崎支部が設立された後も、岡崎会は、支部とは別組織として昭和四十二年十一月まで記録にその名称が残されています。

支部は設立以来、ソフトボール大会、音楽祭、ヨット教室、ブドウ狩り、川魚のつかみどり大会、ハイキング、ダンスパーティー、文化講演会、スキー教室、ボーリング大会、市民公開講座、カラオケ大会など実に多彩な行事を実施してきました。

また、この様な行事以外にも平成六年には先にご紹介しました四二年前のタカハシ百貨店の原爆展のことを今一度整理し、後世に伝えようと「平和の鐘を今ー岡崎原爆展を思い起こしてー」を発刊しました。この冊子は、「原爆の図」の作者である

丸木位里・俊夫妻の制作意図や現代的意義(昭和六一年チェルノブイリ原発事故発生)についての寄稿、被ばく体験者の手記、原爆展を見た人々の当時の感想文の復刻、そして、原爆展を主催した岡崎会元メンバーの寄稿により構成され、当時の学生の熱気や観覧者の衝撃、そして、このことを後世に伝えなければという、発刊当時に再燃した支部会員の熱気が伝わってきます。

愛知大学同窓会岡崎支部
創立六十周年お祝いのごとば

愛知大学同窓会

会長 土井義昭



この度、愛知大学同窓会岡崎支部が創立六十周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございませう。心よりお祝い申し上げます。

愛知大学同窓会は、昨年十一

月四日に創立六十五周年の記念行事として全国総会を盛大に開催しました。貴支部も古くからの伝統のある支部であり、会員は五、五〇〇名余りを数え、国内五十八支部の中でも名古屋、豊橋、浜松の各支部に続く四番目の大きな規模を誇っております。

昭和三十三年に発足して以来、運営上のご苦労は多々あったことと存じますが、歴代の支部長様や役員の皆様をはじめ、支部会員すべての方の力が結集され、継続的に発展してこれられたことに対して労いと敬意を表します。

私も同窓会長をお引受けしてから二期が経ち、この間に各地域の支部を訪問してまいりました。支部の新旧、大小を問わず各支部長様の悩みは共通しております。支部総会や行事への参加者が少ない、特に若い年代の会員や女性会員の参加が伸び悩み、世代交代が進まず活動が停滞化し、運営資金も厳しい状況の中で将来的な存続に不安を感じる、との声を多く聞きます。

同窓会本部としては、入会費徴収の問題を抱えていることもあり、まずは在学生に対して同窓会活動の意義の認知と理解を促進する必要があります。その手段として、全国規模での同窓生による就職活動の支援や、低年次

学生向けに経済界をはじめとした社会で活躍する同窓生による講演の実施など、いわゆるキャリア支援に取り組みたいと考えます。これらを通じて、学生が卒業して社会人となった時には世代の壁を越えて同窓生との交流ができるような環境を整え、同窓会の活性化に繋げたいと思います。

さらには母校のブランド力の向上も計らなければなりません。折しも本年四月より各学部時代に即した学科やコースが新たに開設されます。とりわけ将来の農学系学部の創設につながる食・農・環境コースが地域政策学部でスタートします。岡崎を含む三遠南信地域の特性と要望にマッチした地域密着の教育に期待するとともに、受験生の確保に協力できればと考えます。

同窓会および支部の活動は、会員相互の親睦と大学の発展に寄与することを重要な目的としております。同窓会副会長として大いに貢献していただいている大島支部長様をはじめ、役員および会員の皆様方には支部設立の原点を見失うことなく一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

岡崎支部の益々のご発展と会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。お祝いのごとばとさせていただきます。

愛知大学同窓会岡崎支部 創立六十周年を祝して

愛知大学学長 川井伸一



昨年(二〇一七年)十一月、愛知大学同窓会の創立六十五周年全国総会が盛大に開催されたことは記憶に新しいことですが、この度は愛知大学同窓会岡崎支部が創立六十周年を迎えることに心よりお祝い申し上げます。同窓会岡崎支部は一九五八年七月に設立され、本学第一回卒業生の大見純夫氏が初代支部長に就任されました。以来、会員相互の親睦交流を中心に持続的に活動を展開され、今日では支部会員数は約五、五〇〇名を数えています。岡崎支部はまた一九七四年以来、支部会報を定期的に発行し会員間の情報交流を積極的に図っていると聞いています。長年にわたる支部活動の継続発展を支えてこられた歴代の支部長はじめ役員の皆様の献身的なご努力に、心より敬意を表します。さて、愛知大学は二〇一六年十一月に

創立七十周年を迎え、各種の記念行事と施設・設備の設置更新を行いました。特に名古屋校舎の第二期工事は翌年三月に無事竣工し、四月より供用を開始しました。また同年十月には名古屋校舎の立地するささしまライブ24地区全体のまち開きが行われ、名古屋駅に近い賑わいのある新たな街が出現しました。大学の施設・設備の設置更新にあたっては、大学創立七十周年記念募金への寄付金が与かっています。岡崎支部を含め大学同窓会の皆様からご寄付を賜りましたことに心より御礼を申し上げます。また大学の学術組織の再編については二〇一八年度から豊橋校舎の文学部に心理学科、地域政策学部は食農環境コースを新設し、新入生を迎え入れまします。また同時に名古屋校舎の国際コミュニケーション学部の比較文化学科を国際教養学科に改称します。今後、日本の十八歳人口が長期的に減少していく厳しい環境のなかで、愛知大学は教育組織の再編と教育の質の維持向上に努め、大学の競争力、ブランド力を強めていく考えです。

そのためにも大学は同窓会との連携をひきつづき継続発展させていく方針ですので、同窓会の皆様のご理解とご支援をよろ

しくお願い申し上げます。最後に、改めて同窓会岡崎支部の創立六十周年に祝意を表します。

祝 辞

岡崎市長 内田康宏



愛知大学同窓会岡崎支部がめでたく設立六十周年を迎えられましたことに對し、心からお祝いを申し上げます。

愛知大学は、一九四六年の創立以来、「世界文化と平和への貢献」、「国際的教養と視野を持った人材の育成」、「地域社会への貢献」を建学の精神とされ、世界にはばたく国際人の育成を担っております。

十四万人を越える卒業生の皆様は、東海地方をはじめ、全国の経済界、法曹界、政界あるいは官公署などにおいて活躍いただいております。

本市におきましても、各界各層におきまして、地域社会を支えていただいております。

貴支部は、一九五八年に設立され、現在、会員数は五、〇〇〇名を超え、五月の総会を

始め、様々な行事を通じた交流を深めていらつしやいます。共に同じ学び舎で過ごされた思い出は、今でも皆様の心の中に残っていることと思います。

近年の少子化等の影響により、大学を取り巻く環境が大きく変革し、大変厳しい状況にあるといえます。そのような中、愛知大学では、新しい時代の要請に応えた組織の改編、キャンパスの移転、グローバル化への対応などを行っておみえです。

同窓会におかれましても、これまで以上に大学をご支援いただき、同窓生の輪を広げていただきたいと思ひます。

さて、本市は昨年、市制一〇一周年を迎え、次の一〇〇年に向けて新たな一歩を歩み出

す大変重要な年でありましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで各種事業を順調に進めることができました。

着々と整備が進んでいる乙川リバーフロント地区を始め、様々な施策を積極的に進めることにより、岡崎の市民、ことに子ども達が自らのふるさとに對し、これまで以上に大きな愛情と誇りを持てる、「夢ある新しい岡崎」を築き上げることができると考えておりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴支部のますますのご発展と、会員各位のご多幸を祈念申し上げます。お祝いのことばといたします。



細井 利菜 (H22年)

お祝いの言葉を頂きました

豊橋支部長 伊藤 光男
岡崎支部設立六十周年を
迎えます。誠にめでと
うございます。

昨年の十一月四日、六十五
周年全国総会にはご協力あ
りがとうございました。

今後皆様のご健康と岡崎
支部が益々発展されます事
を祈念して、お祝いの言葉
とさせていただきます。

名古屋支部長 堀田 久富

この度は愛知大学同窓会
岡崎支部が創立六十周年を
迎えられましたこと、心よ
りお祝い申し上げます。創
立以来今日まで、会員の交
流のために様々な活動をさ
れていること、また、第二
プロックの発展のために献
身にご尽力をされている
など、歴代の支部長はじめ
役員の皆様のご努力に敬意
を表します。

今後の岡崎支部の益々の
発展と、支部の皆様方のご

活躍、ご健勝をご祈念申し
上げます。

岐阜支部長 八木 好郎

岡崎支部設立六十周年、
誠におめでとうございます。
節目となる六十周年を迎
えられましたことは、大島
支部長様を始め役員・会員
の皆様、そして、歴代の役
員の皆様のお力によるもの
と、深く敬意を表する次第
であります。岡崎支部の
益々のご発展を、心から祈
念いたしております。

豊田支部長 鈴木 伸介
岡崎支部創立六十周年を
心よりお祝い申し上げます。
私共豊田支部が岡崎支部よ
り独立して四半世紀が経過
いたしました。その間もご
指導いただきましたながら活動し
現在に至っております。

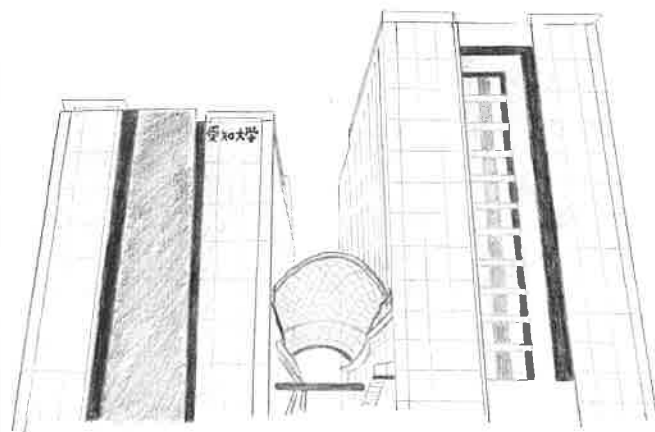
同窓会活動も難しい状況
にありますがお互いに切磋
琢磨し頑張つて参りましょ
う。



祝 愛知大学同窓会岡崎支部創立60周年

岡崎支部支部長 大島俊明税理士事務所	大島俊明 S49院卒 ☎(0564) 54-2290	岡島讓 S46年卒 岡崎市代表監査委員・税理士	
岡崎支部副支部長 笑いヨガくらぶ 童笑	青山順香 S44短卒 ☎090-1565-8384	伊藤邦男税理士事務所 岡崎市伊賀町字愛宕山47-1	伊藤邦男 S47卒 ☎(0564) 26-2811
岡崎支部副支部長 愛大不動産会 会員	千賀亮治 S43卒 ☎(0564) 28-0397	税理士法人イマイズミ 岡崎市羽根北町2-8-8	今泉孝一 S30短卒 ☎(0564) 52-0380
岡崎支部副支部長 アトリエ恵 主宰	小濱 恵 S47短卒	ミッドランド税理士法人 岡崎市葵町3-1	石川 誠 ☎(0564) 24-5678
岡崎支部副支部長 勤務先 カーサービス南部電装有限会社	杉田雅裕 S50卒	小野田清美税理士事務所 岡崎市東蔵前町字火打山9	小野田清美 ☎(0564) 45-8878
岡崎支部事務局長 勤務先 株式会社片岡機械製作所	小山 弘 H17院卒	九鬼義弘税理士事務所 岡崎市六名東町1-4	九鬼義弘 S61卒 ☎(0564) 53-1421
岡崎支部事務局次長 S K行政書士事務所 所長	小濱史裕 H20卒 ☎(052) 387-9974	こんどう事務所(税理士・診断士) 岡崎市庄司田1丁目13-20	近藤大補 H13院卒 ☎(0564) 55-8775
岡崎支部相談役 岡崎市矢作町桜街道38-1	細井貞男 S39卒 自動車部 ☎(0564) 31-2208	志貴賢司税理士事務所 岡崎市六供町字清水50-13	志貴賢司 ☎(0564) 24-0754
おのだ鍼灸院 岡崎市欠町石ヶ崎79-1	小野田 哲 S45卒 ☎(0564) 23-7189	鶴田悦道税理士事務所 岡崎市竜泉寺町字上野中109-2	鶴田悦道 ☎(0564) 72-2622
佐藤憲弘 岡崎市渡町字大柵63-1	S42卒 ☎(0564) 31-3898	手嶋學税理士事務所 岡崎市鴨田町字池内54-10	手嶋 學・手嶋康之 ☎(0564) 24-6262
センチュリーシュンエー マンション経営 岡崎市稲熊町後田39-31	水口 俊 IHS27卒	中嶋有美子税理士事務所 岡崎市欠町字東畑3-8	中嶋有美子 S63院卒 ☎(0564) 23-3618
服部喜代司 株式会社丸五商店 専務取締役	S41卒	松井吉三税理士事務所 岡崎市新堀町字川間1-2	松井吉三 S61院博卒 ☎(0564) 64-1660
松原鉦油株式会社 岡崎市伊賀町字2丁目7	松原広幸 S55卒 ☎(0564) 21-7251	山田晃代税理士事務所 岡崎市八幡町3-58	山田晃代 ☎(0564) 23-5131
新鍋田屋たこ一 岡崎市松本町42-7	鍋田晃一 S63卒 ☎(0564) 21-1976	岡崎支部会計 宇野弘隆税理士事務所	宇野弘隆 S57院卒 ☎(0564) 25-9321

岡崎支部 60 周年



手嶋 学 税理士事務所

税理士 手嶋 学
社労士 行政書士 (42年法経学部Ⅱ部卒)

税理士 手嶋 康之
(平成7年院経卒)

事務所 岡崎市鴨田町字池内54-10
電 話 (0564) 24-6262
F A X (0564) 24-9087

e・TAX 電子申告
電子納税もお任せ下さい!

TKCコンピュータ会計システム
認定経営革新等支援機関

大島俊明 税理士事務所

岡崎市土井町字荒井乙40番地
E-mail : oshima.t@tkcnf.or.jp
Tel : 0564-54-2290
http://www.tkcnf.com/oshimakaikei/pc/

税理士法人イマイズミ

税理士 今泉 孝朗
税理士 今泉 孝一

〒444-0831
愛知県岡崎市羽根北町2丁目8-8
電 話 (0564) 52-0380
F A X (0564) 54-3360
E-mail : imaizumi-takao@tkcnf.or.jp

宇野弘隆税理士事務所

税理士 宇野 弘隆
行政書士

事務所 岡崎市井田町3丁目91-34
電 話 (0564) 25-9321
F A X (0564) 26-1419

地域情報満載!!

岡崎市の情報発信基地の
ケーブルテレビ局



ミクスネットワーク
TEL 0120-345739
お問い合わせ
お申し込みは
http://www.cmvics.ne.jp/

安全・快適な
インテリア空間を創造する。

oliver

株式会社 **オリバー**

岡崎本社 岡崎市飯田1丁目1番地12
TEL. 0564-27-2800 (代) FAX. 0564-27-2860 (代)



岡崎本社ショールームビル

【営業種目】

機 械 鉄 工 造
(大型五面加工機) 鋳 造

太田工業株式会社

取締役会長 太田 善夫
(元岡崎支部長)

本社 〒444-0804 岡崎市美合町字生田19番地1
工場 〒444-0005 岡崎市岡町字上野川111番地
TEL (0564) 51-8029(代)
FAX (0564) 54-0903

いい家いい情報! わが家がーばーん!



ダイワ不動産

ダイワ管理システム
アパマンショップ岡崎店

代表取締役 手嶋 明
(37年経済卒)

〒444-0038
岡崎市伝馬通4丁目17番地
TEL (0564) 23-1185
FAX (0564) 22-1116

SK 行政書士事務所

◆外国人のビザ・在留資格



行政書士
小濱 史裕
(H20年法経部卒)

名古屋入国管理局まで徒歩1分
〒455-0073
名古屋市港区川西通5-7
ウインドム502
電話 052-387-9974
http://okazaki-gyouseishoshi.com/

明日への夢を育てます

岡崎信用金庫

〒444-0035 岡崎市菅生町元菅41
電 話 0564 (21) 6111

陸運局認証工場

カーサービス

南部電装(有)

杉田雅裕 (50年 経済学科卒)

〒444-0813 岡崎市羽根西3-3-4
TEL (0564) 51-0311(代)
FAX (0564) 54-8440

岡崎相続サポートオフィス

税理士 宮島好弘

岡崎を中心に遺言書作成・相続手続・
相続税申告を親身にサポート!

岡崎警察署バス停前
岡崎市三崎町2-2

☎ (0564) 53-4161
FAX (0564) 52-6347

二種・全車種免許が取れる

西尾自動車学校

(23号バイパス中原ICより1分)

TEL : 0563-56-5311

校長 宇井 均 (S46卒)

河合潤 税理士事務所

税理士 河合 潤
行政書士 (愛大52年院法卒)

事務所 岡崎市材木町2-16
電 話 (0564) 21-4227
F A X (0564) 24-6838

伊藤邦男 税理士事務所

税理士 伊藤 邦男

岡崎市伊賀町字愛宕山47-1
TEL (0564) 22-1429 (自 宅)
TEL (0564) 26-2811 (事務所)
FAX (0564) 26-2812 (事務所)

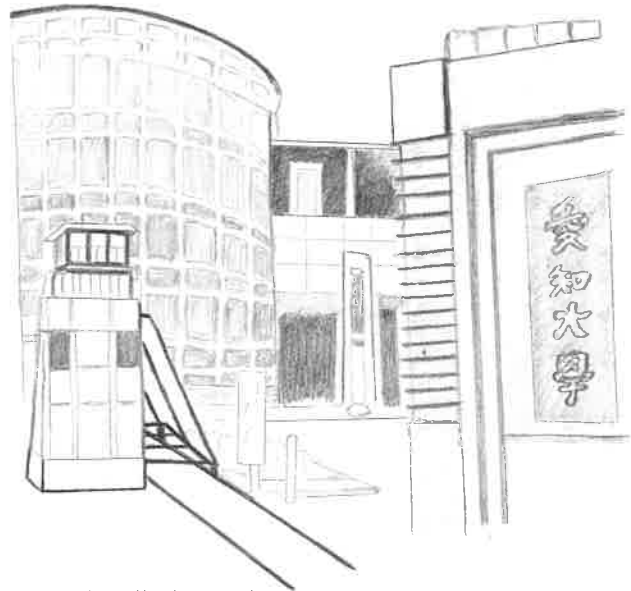


工業化住宅部品製造
自動車部品製造

「我々は環境に配慮し、ものづくりを通じて社会に貢献する」

宇都宮工業株式会社 <http://www.u-m.co.jp/>
 本社 豊川市大木町柏木2番地1 TEL(0533)93-2626
 取締役会長 土井 義昭 (昭和35年卒)

祝 愛知大学同窓会



細井 利菜 (H22年)

小戸森憲 税理士事務所

税理士 小戸森 憲
行政書士

事務所 岡崎市竜美中1丁目1-11
電話 (0564) 54-6228
(0564) 54-6517



お届けします
安心空間

アパート紹介専門の店
(株)深津住宅センター

専務取締役 深津 智子
(愛大58年法学科卒)

本社 岡崎市葵町1-1 ☎21-0658

スカイランチバイキング



岡崎ニューグランドホテル
OKAZAKI NEW GRAND HOTEL

〒444-0052 岡崎市康生町515-33
TEL (0564) 21-5111(代)
FAX (0564) 21-0109

【取扱商品】
作業服・制服・焼き服・白衣
名入りタオル・作業手袋・帽子
ヘルメット・判他各種印刷染物
各種安全用品
岡崎西高校指定シューズ・スリッパ

卸
小
売

ハチスカ株式会社

取締役社長 蜂須賀 利雄
(愛大38年 経済学科卒)

岡崎市葵町9-6
TEL (0564) 21-0166(代)
FAX (0564) 25-3388

磯部ろうそく店



OKAZAKI JAPAN
ISOBE

九(久)代目 店主
(S60年度経済卒)

〒444-0047
愛知県岡崎市八幡町1丁目27番地
☎0564-24-0245
<http://www.isobe-r.jp>

KATAOKA

株式会社 片岡機械製作所

生産管理部 久田 富士男 (S62年卒)
技術部 名倉 康博 (S69年卒)
総務部 小山 弘 (S68年卒)
総務部 細井 利菜 (比較文化学科卒)

〒444-0802
岡崎市美合町字京ヶ嶺7番地1
電話 0564-51-4511
<http://www.kataoka.mac.co.jp>

祝 60周年

有限会社 武田電気工事

武田 種廣

岡崎市土井町字西番城 19-1
TEL 0564-51-7384
FAX 0564-54-4075

祝 60周年

脇田製畳

代表 脇田 昭生

安城市柿碓町南屋敷 22
TEL 0566-97-8001
FAX 0566-98-8185

愛大同窓会岡崎支部60周年
おめでとうございます。

当社ドローンにて空撮

70th
YOSHINO PRINTING

ヨシノ印刷も
皆様に支えられ
創業70周年を迎えることができ
心より感謝申し上げます

株式会社 ヨシノ印刷
〒444-0924 岡崎市八帖北町14-15
Tel 0564-24-1218 Fax 0564-24-1968
<http://www.yoshino-print.co.jp/>

季節料理◆即席割烹◆お座敷宴会

お食事処



岡崎・康生通東 電話21-8514

祝 60周年

襖製造販売・内装工事一式

岡崎フスマ

一級技能士 浅井 深雪

岡崎市北野町字西河原 79-2
TEL 0564-31-1275(代)
FAX 0564-32-3958

祝 60周年

総合建設業 サンモク工業株式会社

代表取締役 横山 芳兼

岡崎市唐沢町1丁目25番地
TEL 0564-21-0038(代)
FAX 0564-25-3008

祝 60周年

触れてください 石のやさしさ

株式会社 前田石材店

代表取締役 前田 豊

岡崎市上佐々木町
字梅ノ木 18番地 11
TEL 0564-31-6987
FAX 0564-32-2239

祝 60周年

ペンキ屋 長谷川

長谷川靖志

岡崎市上六名1丁目8番地15
TEL 0564-51-1655
FAX 0564-55-9903

岡崎市議会議員の活動

岡崎市議会議員
畑尻宣長 平成六年卒



日頃より、愛知大学同窓会岡崎支部の同窓生の皆様には大変お世話になっております。昨年同様、皆様からのご要望を形にすることが出来ました。その一つに、一昨年の台風19号が接近した折には、かなりの雨量となりました。線路の下をくぐるアンダーパスと言われる道路では、多量の雨水が道路に流れ込み、排水処理が追いつかず冠水しているところが発生しました。羽根アンダーパスと矢作アンダーパスです。羽根アンダーパスは、道路に雨水が溜まりだしますと、情報表示板での注意喚起が促され、遮断機が降り進入禁止の状態になります。しかし、矢作アンダーパスは、まだ、情報表示板や遮断機の設置はありませんでした。その為、冠水したアンダーパスに車が突っ込み、浸水し動けなくなるといふ事故が発生しました。そういったことを受けて、私は議会で、情



豊明介護ロボット

報表示板や遮断機の設置が出来れば良いのですが、費用の面で早期の設置は厳しいと考え、すぐ出来る対策を提案しました。それは、アンダーパスの道路面に10CM、30CMと路面に走行中でもわかるように大きく帯状に表示することです。路面上のサインにより、アンダーパスの道路面に冠水した水位が、ドライバー自身で認識が出来、侵入することは避けられると考えたからです。その結果、昨年、六月までには、市内四カ所あるアンダーパス全部に、路面標示が施されました。皆さんも、アンダーパスを走行する際には、注意して見てください。路面に、10CM、30CM、1Mのどれかが表示されています。これで、冠水したアンダーパスに侵入する車が無くなることを願っています。



大和市視察風景

福祉の分野では、障がい者の雇用の確保を目指した提案をさせて頂いております。それは、農業と福祉の連携による就労の形態です。国からの障がい者雇用の法定雇用率が上がったことを受け、大手企業を中心に新たな雇用の確保に動き出しています。すでに近隣では、実施されています。現地視察した折、そこで働く障がい者の皆さんの笑顔が素敵でした。本市でも民間事業者の取り組みが進むよう行政側からの後押しを働きかけています。

で、高齢者の住み慣れた地域での生活を快適にしていけるヒントとなり活かされています。平成三十二年開院予定の藤田保健衛生大学 岡崎医療センターに期待するところであります。まだまだ、これからも皆さんからのご意見や、ご要望に向き合いながら、岡崎市がさらに住みやすい街になるよう働いて参ります。

平成二十九年度
役員会並びに新年懇親会報告

平成三十年一月二十一日(日)会場「うを勝」にて開催。参加会員 三十名

本年は、受付十一時として、昼食の懇親会となりました。

青山副支部長の司会、千賀副支部長の開会の言葉で幕開けとなりました。

- ① 活動報告 小山事務局長
 - ② 収支報告 宇野会計
 - ③ 次期支部役員改選(案)
- について提案されました。全てに提案が役員皆様から承認され、五月の総会に諮ります。

例年の、青山副支部長の笑いヨガで緊張をほぐし、宴会に入りました。おいしいお料理を食べながら懇親を深め、今年もくじ引き抽選会が行われ、くじの

番号が発表されるたびに歓声が上がります。今年も最後まで盛り上がりのある会となりました。景品は役員からの心ばかりの品と、今年も多くの方から提供していただいたものとでバラエティに富んだ抽選会になりました。ご協力ありがとうございました。

役員一同五月の六十周年記念の総会を目指し、フル活動です。



議事進行中



笑いヨガはじまります

岡崎市議会議員の活動

岡崎市議会議員

磯部亮次 昭和六十年年度卒



岡崎市議会議員を拝命いたしておられます、昭和六十年年度卒の磯部亮次です。

日頃は、愛知大学同窓会岡崎支部の皆様には、大変お世話になっております。

年齢を重ねるとともに、世間が段々と狭くなつてまいります。お知り合いの方々が増えていくわけですが、あらためて、愛知大学をご卒業された方がいかに多いかを感じる日々であります。

しかしながら、同窓生というのはありがたいと思います。時が違えども同じ学び舎で学んだという事で、心が繋がっていきまします。仕事にしても、プライベートにしても、その事で随分と助けて頂いたり、甘えさせて頂いたりすることがあります。卒業してから三十年以上が経ちますが、正直振り返って、過去を懐かしむことはあまりありませんでした。同世代の友人たち



と一緒に時にはもちろんありますが、広義で同窓生を意識させて頂くようになったのは、ここ数年の事だと思えます。年齢もあると思えますが。

それでも、「同窓生」という言葉には「力」があると思えます。

時代の変遷で、記憶の中にある風景は必ずしも同じでは無いわけですが、感じてきた歴史や伝統は、その風景すら超越し、同じ感覚を醸し出すには余りあると思っております。

勝手かもしれませんが、年上の皆様は、兄や姉のように、年下の皆様は弟や妹のような感覚でお慕い申し上げております。「同窓生」には、そんな空気があります。

これからも、どうかお仲間として、末席において頂きたいと思っております。

さて平成二十八年十月に市議会議員にさせて頂いてから、一年と数ヶ月が経とうとしております。この間、「勉強します」



などと悠長なことは言えない年齢なわけで、年相応にもつている経験値と価値観、良識に則り活動してまいりました。皆様ご存知の通り、市内では、いくつもの大きなプロジェクトが進行しております。どの内容も、岡崎にとっては、大切なものばかりと感じております。そして、その内容をひとつ一つ、市民の立場で、市民の為になるかどうかを考えていくのが、私たちの役割であると思っております。

岡崎に住む方々が胸を張って誇れる町にしていかなければいけないと思えます。それとともに、毎日の生活の中での問題なども大変多くご相談いただきます。

改めて、皆さんご相談する先が無かつたんだなあ。と感じるぐらいの多さです。

一回生の一年目議員ではありますが、相談件数は一〇〇件を下りません。一つずつお話を聞きまして、必要な対応をさせていただきます。正直、す

ぐ可能な事もあれば、時間がかかるものもあります。また、現在の制度ではなかなか叶わないこともありませんが、その内容の有用性をみて、必要となれば、時間をかけてでも成し遂げていく手立てを考えてまいります。「毎日忙しいの？」と聞かれませんが、「毎日時間が足りない」と感じております。しかしながら、人様に頼っていたら、人様のお役に立てるのであれば、それは大変幸せな事と思えます。

自分たちが暮らすこの町が、より良くなつていく事、より幸せを感じられる事。これからも、一生懸命考えて、実践してまいります。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

知を愛し、世界へ。

愛知大学創立70周年記念募金

地域社会への貢献
国際化への貢献
高度専門職業人養成

募金は平成30年(2018年)11月14日まで受け付けています。

詳しくは支部長までお尋ねください。
☎0564-54-6763 ☎0564-53-1466
📠090-3155-5853 ✉oshima.t@tkcnf.or.jp

同窓会岡崎支部日程 2018年～2019年

- ・月例定例会 原則毎月第3水曜日 18:30～20:30 会場：みゆき
- ・秋の日帰り旅行 11月予定
- ・役員会並びに新年懇親会 2019年1月20日(日) 魚清
- ・総会並びに懇親会 2019年5月26日(日) 予定

岡崎支部の行事は、どなたもお気軽にご参加下さい。大歓迎です。お問い合わせは、支部長 大島俊明までお願いします。
〒444-0204 岡崎市土井町荒井乙40
TEL 0564-54-2290 FAX 0564-53-1466
E-mail oshima.t@tkcnf.or.jp

職場訪問

今回は、近藤大補税理士中小企業診断士事務所所長近藤大補さんを訪問しました。

開業までのご苦労と、今に至るまでの努力、そして仕事への情熱、最後に同窓会への思いを語っていただきました。

近藤さんは、愛知大学で修士課程を修了し、二年間の実務経験を経て、平成十七年に現在の場所に税理士事務所を開設されました。

大学で、やれば結果がでる勉強の面白さに目覚め、祖父が税理士をしていたことから、身近な職業と感じており、ご自身も税理士を目指したとの事でした。

大学院を出てからパソコンの勉強をしたこと。開業当時は、

いただいたお話は全部受け、岡崎商工会議所の相談員もやり今は税理士会の税務支援対策委員長をされています。最初の五年間くらいは、不安と苦労の日々を過ごされたとのこと。

「今はその時の経験が生きているし、心も強くなりました。とにかく自分が知らないことが多く、その分勉強をしました。いろいろな方に何でも聞いて、教えてもらいました。今思えば、五年間苦しかったけど楽しかった。」と笑顔で語っていました。

中小企業診断士資格の取得の動機は、税理士試験受験時代に受講した大原簿記専門学校で簿記論の先生に中小企業診断士講座の先生を紹介され、お話を伺ったら、おもしろいなあと感じ、即決で受講を申込みました。

平成二十一年に一年くらいで資格を取得することができ、コンサルタントをはじめました。「私はこういうやり方をします。なんでも相談して下さいというスタンスで相談にのぞんでいます。相談したいと言われる人になりたい。いいお客さんに恵まれている。」と言われました。

妻小百合さんも平成十一年短大卒の愛大卒業生で、事務所にも、愛大卒業生が一人務めているそうです。

近藤さんの趣味は話す事・外出・お酒・カラオケ。また子供さんを連れてよく小旅行をするそうです。読書は、戦国時代のものが好きとの事です。

平成三十年より同窓会岡崎支部の新副支部長として「友人をさそい、若者が集い、気楽な雰囲気の間窓会にしたい。」と活躍が期待されます。

「愛大で人生変わりました。」

卒業生の皆さん、お気軽にご相談下さい。

近藤大補税理士中小企業診断士事務所

岡崎市庄司田二丁目 十三—二十

URL: <http://www.kondo-tax.jp/>



学生歌高唱



細井 利菜 (H22年)

平成二十九年愛知大学同窓会 岡崎支部総会並びに懇親会報告

平成二十九年五月二十七日(土) 岡崎ニューグランドホテルにて開催。来賓二十三名、会員四十名の参加をいただきました。今回初めての試みとして、総会に先立ちまして、「岡崎カクキューの八丁味噌のみそ蔵見学」をおこないました。来賓・会員二十名の方が参加されました。「良かったよ。」という声で、提案した役員一同安堵しました。総会は、杉田副支部長の司会で第一号議案から第四号議案まで執行部原案通り承認いただきました。その後会場を2階に移し懇親会は、青山副支部長の司会によって進んでいきました。大島支部長は、岡崎支部創立六十周年を来年に迎えてイベントについて。

内田岡崎市長は、愛大同窓会の団結力の感嘆。伊藤学長代理は、受験生増と就職状況について、伊藤同窓会副会長は、今年同窓会全国総会への協力それぞれ挨拶をいただきました。大川顧問の乾杯が終われば、あとは歓談真つただ中。最後は学生歌・道遥歌でさらに同窓生としての絆を深めることができました。

年度の締めくくりとして、総会で議案がすべて承認いただき、気持ちも新たに新年度を迎えます。

総会の前にも皆様に喜んでいただける企画をと、今回見学を取り入れました。ただ役員だけでは人手不足ではないかと心配し、総会では皆様への心配りさらに気遣いながら会を進め、無事終えることができ、役員一同安堵いたしました。

近未来の多文化共生について
歴史の分岐点として「伝える」ということ

岡崎市国際交流協会 交流部会
荻野泰伸 昭和三十八年卒



陽は昇り輝き、そして沈み、夜空に流星を見る。地球の自転は、人にとって不変とも云える自然体感としての日常である。

顧みて人の日々の歳月には、同じ日時はなく、そして重なる日々は、やがて人の人生や時代の歴史とも呼ぶことができる。歴史という言葉で単純に私が思いイメージするのは、ローマ・アテネの文化ではなく、戦国時代の関ヶ原、徳川家康、江戸幕府、明治、大正、昭和と身辺の語り継がれた歴史である。そして第二次世界大戦・原爆・終戦・敗戦による貧困・空腹の小学校さらに岡崎市の空襲が体感としての歴史であり、これらの日常を含めた時の流れが私のすぎた歴史であり、単純な概念である。

さて現在、日本の社会現象として外国人観光客が昨年二千八百万人。外国人による爆買、忍者、武士道、おもてなし文

化への関心など私たちの生活情報が多くある。私が物心ついてから(小学校時代)は、思いもつかない、想像する事の出来なかつた日本社会がやって来た。

“多文化共生”の時代と人は云う。第二次世界大戦の敗北後の日本人の復興努力は、現在、日本の技術力が技術生産国として発展、諸外国からも注目され、認められる国となったことは云うまでもない。

しかし、現在日本の社会現象として、高齢化、少子化による人口減少、労働力(マンパワー)の不足：：等が揚げられている。そして不足している労働力を満たす意味での外国人労働者の日本への移住が多く見られる。もちろん観光客としての外国人の人々、学術研究者として、文化人としての来日、様々な人たちが包括しての多文化共生社会が実現している。この多文化共生としての岡崎市の現状は、総人口三十八万六千七百六十三人(平成三十年一月一日現在)の中で、七十ヶ国余りの外国人一万七百三十六人が現在、就労、生活をしている。ブラジル人(三千四百五十人)中国人(千七百四十五人)フィリピン人(千七百八十人)：：と続く：：日本が島国であることにも起

困するが、その歴史に於いて、かつてなかつた社会の様式を迎えることを自覚しなければならぬと思う、多文化共生の社会である。多民族社会とも云い文化、習慣、宗教、言語の異なりを認め合つて社会生活を送るという事である。

どうすれば多文化との生活がうまく行くか? 何をお互いが理解しなければならぬか?：：という思考の展開は別の機会として：：人が後世に伝えるという事、自身の子供達に伝え残すという事は、自身が体感した日々の歴史を伝え居るべきであり、歴史書に書いてある事柄は、書店・図書館にある文献、書物によつて得る事が出来よう。私は祖父母から、父母から、明治・大正・昭和を語り継がれ、自身も第二次世界大戦中の岡崎空襲を体験した事は、一般の歴史書にはない。

社会学で云う個(核)の結合が家族を成し個の果たすべき責任は伝達にあり、社会の先人として、家族への遺産・遺言として伝えなければならぬと思う。

私は自身が生きて、体感した歴史として、小学校時代岡崎の空襲で、母が五人の子供たちをつれ必死で伊賀川沿いを逃げたことは、映画「火垂るの墓」に再現された。当時中学生(昭和

二十七年)だったと思うが、岡崎市本町(現・岡信本町支店)にあつたタカハシ百貨店の二階会場で、愛知大学岡崎会が催した原爆展は、岡崎の空襲と併せて強烈に今でも残っている。又昭和三十一年頃、世間に肉マンがまだ無かつた頃、愛知大学の学生食堂で食べた。

故・牧野学長と紅露晃先輩と共に自転車で家庭を大学院まで移動していた事を思い出す。これらの事柄は、私にとつて高師ヶ原の春であつた。

心の奥に残っている経験や思いを個々の持つ「深層文化」と呼ぶ人達も在る。私たちが個々に持つ体感した時代の文化は、後に来る子供達や、人々に遺言として残したいと思う。そしてそれは遺産とも云える。

歴史の一コマとしての現在の多文化共生にもどるが、来日の外国人が日本の文化・言語・習慣を学び習得しても、何かお互いに気づいていない、理解を得られない事が多くある。そしてその差異は、個々の体感としての歴史を経験した個々の価値観・その個人が得たルールを来日する外国人の人々も個々に持つていると思う。そして国を超えて多文化を考えるのに重要で忘れてはならない事といえるように思う。又、国際交流の場に於て、交

流”で互の文化を学ぶ時は過ぎ、共に社会のあり方を考える。共生の時代へ移る時とも云える。

平成三十年度 支部維持会費納入のお願い

支部では会報の発行をはじめ支部行事の活動や、同窓会本部・近隣友好支部との交流を推進するため、会員の皆様方に支部維持会費の納入をお願いしております。

昨年度は多くの方々からご協力をいただきありがとうございます。今期もよろしくお申し込み申し上げます。

- ①一口(一、〇〇〇円以上)
- ②同封の「振込依頼書」をご利用下さい。
- ③前年度の納入状況は支部会報でご報告致します。

編集後記

多くの皆さんにご協力をいただいで、支部創立六十周年記念会報七十八号をお届けできました。ありがとうございます。

文章 小山 弘(日17年)

総会並びに懇親会

新年役員会並びに懇親会

職場訪問

文章校正 大島俊明(S9年)

写真 青山順香(S44年)

イラスト 千賀亮治(S43年)

細井利菜(日22年)

平成30年度 愛知大学同窓会岡崎支部総会議案

第1号議案 平成29年度事業報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1 支部行事

- (1) 平成29年5月27日(土) [於 岡崎ニューグランドホテル]
平成29年度支部総会並びに懇親会を開催し、来賓に伊藤博文
法務研究科長をはじめ23名、会員40名、合計63名が参加
(2) 平成29年5月27日(土) 岡崎支部会報第77号を発行(6,500部)
(3) 平成30年1月21日(日) [於 うを勝]
役員会並びに新年懇親会を開催(会員30名参加)
(4) その他 役員会等の開催 (12回)
平成29年4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、
8月16日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日、
平成30年1月17日、2月22日、3月22日

2 その他の行事

Table with 4 columns: 年月日, 行事名, 出席者, 会場. Lists various events like 豊橋支部懇親会, 刈谷・知立支部懇親会, etc.

その他 本部長理事会、支部長会議、本部委員会等に出席 (大島支部長ほか)

第2号議案 平成29年度会計報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

<収入の部>

単位: 円

Table with 3 columns: 項目, 決算金額, 備考. Details income items like 会費収入, 維持会費, etc.

<支出の部>

単位: 円

Table with 3 columns: 項目, 決算金額, 備考. Details expense items like 総会費, 会議費, etc.

上記のとおりご報告申し上げます。 平成30年5月26日
支部長 大島 俊明 @ 会計 宇野 弘隆 @

監査報告書

平成29年度の収入及び支出の内訳について監査したところ
正確に処理されていることを認めましたので報告します。
平成30年5月26日

愛知大学同窓会岡崎支部
会計監査 宮島 好弘 @
会計監査 手嶋 康之 @

第3号議案 役員改選(案) (役員の名簿 平成30年1月21日の役員会で議決)

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 卒業年次. Lists current and new board members.

退任

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 卒業年次. Lists retiring members.

第4号議案 平成30年度事業計画(案) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

- (1) 平成30年度支部総会並びに懇親会の開催 [5月26日(土)]
(2) 支部会報78号 [5月26日(土)] 発行
(3) 親睦旅行実施 [11月頃]
(4) 新年役員会・懇親会の開催 [平成31年1月20日(日)]
(5) 役員会の開催 [12回くらい]
(6) その他同窓会本部、大学主催行事への参加および友好近隣支部との交流

第5号議案 平成30年度予算(案) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

<収入の部>

単位: 円

Table with 3 columns: 項目, 予算額, 備考. Details budget income items.

<支出の部>

単位: 円

Table with 3 columns: 項目, 予算額, 備考. Details budget expense items.

第6号議案 その他

平成29年度 支部維持会費納入状況一覧表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

Table with 3 columns: 金額, 氏名. Lists members and their contribution amounts.